

# ふれあい通信

## いずみ

平成24年1月17日発行

13号

発行  
 社会福祉法人 いずみ会  
 秋田市泉菅野二丁目17番11号  
 TEL.018-896-5880



縁起物 だるまづくり



ケアハウス 紅葉ドライブ



パン・菓子工房オープン!



保育風景

私は退職を前にオカリナ教室に通い始めました。全くの素人でしたが、楽器を演奏し音楽の世界に身を置くことは心安まる時間であり、同時に日常の忙しさを忘れる時もありました。

ある日、大学時代の友人がお世話になってる施設にお見舞いに行ったときでした。言葉に障がいが残ってしまった彼女を何とか元気づけようとオカリナを演奏しました。私の演奏を聴いている間、彼女はただただ涙を流していました。その姿をみて私自身が何ともいえない感動をもらいました。それ以来、施設のホールで演奏させていただいております。

オカリナ演奏を自分のライフワークとして位置づけ、心の癒やしのひとつときをお互いに共有できたらとボランティア活動をおこなっています。これからも機会を見つけてオカリナ演奏のやさしい音色をお届けしたいと思っております。



オカリナを演奏する高田先生

「心の癒やしを求めて」

秋田市立山王中学校  
 前校長 高田 喜代

美味しいうどんに舌鼓  
特別養護老人ホームリンデンバウムいずみ



稲庭うどん  
最高!!

11月21日、この日は、佐藤養助商店による稲庭うどんの無料提供が、初めて行われました。時折雪のちらつく中、玄関前に垂れ幕を下げた移動厨房車が訪れ、記念写真をとりました。昼食には、温かな稲庭うどんが運ばれ、施設の中全体に漂うだしの香と、ゆでたてのおいしさに、利用者の皆さんからは自然と笑顔がこぼれておりました。思いがけないプレゼントに、「あつたまるなあ。」「久しぶりに食べたけど、また食べたいな。」と皆さん大満足の様子でした。



おいしいよ!  
!o(〇〇)oφ



レクリエーションの風景  
リンデンバウムいずみデイサービスセンター

デイサービスでは毎日レクリエーションの時間を設け、利用者の皆様に楽しんでもらっています。11月初旬「秋の運動会」と称して、チーム対抗戦でゲームを行いました。玉入れ、缶積み競争、宝探し等…。



もっと右だよ!

うまく入らないア!

笑い声やかかけ声が響き合う中、チームの勝利がかかっているのでも、皆さん夢中で取り組みました。優勝したチームには、職員手作りの金メダルが贈られ、喜んでくれました。普段はお話をする機会が少ない利用者さん同士も、レクリエーションを通じて交流ができました。

これからも、皆さんに笑顔で楽しい時間を過ごしてもらえるような企画を考えていききたいと思います。

やったね!!  
金メダル!!



ケアハウスが映画館に变身!?

ケアハウス スプリングヒル

ケアハウスの中に映画館!? どこにそんな場所が…と思われる方が多いと思います。入居されている方々が、食事をする四階の食堂が月1回映画館になるのです。



ケアハウスでは、11月〜3月の冬期間、室内のレクリエーション行事として「映写会」を数年前から行っております。

朝食後、映画館に変身させるため、大きなスクリーンを設置し、カーテンを閉め、入居者の皆様を迎えます。上映する内容は時代劇「武士の一分」から洋画「ローマの休日」まで様々で、できる限り希望に

じた作品を選んでいきます。「あの頃、私達だって若かったよな」と、映画を観ながら懐かしむ方もおられます。

今後も、映写会・お茶会・買い物ツアー等の行事を通して入居者の皆様の親睦を図り、安心して楽しく生活できるケアハウスを目指していきたいと思っております。



めざせJリーグ!!

ウェルビューいずみこども園

国際Aマッチ日本代表で元Jリーガーの増田忠俊さんから、こども園の5歳児15名が、サッカーを教えていただきました。あいにくの天気でしたが、子どもたちは、元Jリーガーといっ

しよに遊べるということまで心を弾ませていました。

子どもたちはすぐに試合ができておもうと思いましたが、増田さんから基礎的な運動やボールの触れ方、ジャンプ動作などを



ボールから目をはなさないでネ!

指導してもらいました。「試合は？」という声に、増田さんは、「ボールに触れる時の目線や重心の置き方などが大切です」とわかりやすい言葉で指導してくれました。子どもたちもうなづきながら真剣に話を聞いていました。子どもの意欲をかき立て飽きさせない指導は、時間の経つのも忘れさせてしまうほど夢中にさせてくれました。

最後のゲームは、仲間同士の声かけや練習した目線のことなど思い出してJリーガーになったような気持ちで元気に動き回っていました。

「年齢に関係なくサッカーの基本的な動きをきちんと学ばせる」増田さんの指導は、ゲーム中の子どもたちの積極的なボールへの接し方に表れていました。

選手は緊張気味な面持ちで会場入りしましたが、回を重ねて参加する人も多く、職員のアドバイスにより落ち着いて競技することができました。

台風12号の接近で強風の中の競技となりましたが、6月から練習した成果と風を味方につけて好結果を出す選手もあり、競技が盛り上がりました。

第9回秋田県障害者スポーツ大会が、八橋運動公園を主会場として9月3日に開催されました。ウエルビューいずみからは、利用者18名が選手として陸上、フライングディスク、水泳にそれぞれ参加し、職員や保護者が付き添いました。



ディスクが入ったヨ!

第9回秋田県障害者スポーツ大会  
ウエルビューいずみ  
障害福祉サービスセンター（多機能型）

施設見学って面白い

平成23年度の季節毎に出かける恒例のドライブは、新鮮な気持ちも味わってもらいたいということで、NHK秋田放送局・さきがけ印刷センター！県立博物館の3カ所を巡ってきました。

NHKでは、夕方のニュースこまちのスタジオに入りテレビで見る光景と同じ雰囲気を感じることができました。さっそく椅子に座りカメラと同じ目線でキャスターになったような気分を味わうことができました。

さきがけ印刷センターでは、新聞が毎朝家のポストに届くまでどうなっているかを紹介するビデオを見たり、工場内部ではインクのおいと巨大な機械を目の前にして「新聞を身近なものに感じた」と皆さん満足げでした。

また、博物館の展示会場では郷土の貴重な歴史をみながら「昔の秋田はこうだったよ」とその当手を懐かしそうに思い出しながら会話がはずみました。

初めての施設見学でしたが、利用者の皆さんからは「普段行く機会がないのでとてもよかった」と喜びの声を聞くことができました。今後も楽しんでいきたいと思えます。



山王のころとは  
ずいぶんかわったわネ

ウエルビューいずみ老人デイサービスセンター



社会福祉法人  
いずみ会  
「理念」

2

私たちは豊かな知識を身につけ、質の高いサービスを提供できる施設をめざします

3

私たちは地域とともに力を合わせ、地域福祉に貢献できる施設をめざします

1

私たちは利用者や家族の気持ちを尊重し、ニーズに応えられる施設をめざします



いずみ会「将来の展望」



特別養護老人ホーム  
リンデンバウムいずみ  
施設長  
小林 明子

いずみ会は開設後、地域に開かれた福祉施設を目指して活動してきました。一昨年、創立10周年を迎えたことを契機に、これまでの福祉活動の成果と教訓をふまえ、「いずみ会の将来構想」を作成し進めています。

- 1 高齢部門**  
特養とショートステイの機能分化、リンデンバウムいずみデイサービスセンターの風呂場拡充等。
- 2 障害福祉部門**  
パン・菓子工房の設置。  
グループホーム開設の検討。
- 3 保育部門**  
選ばれる保育園を目指した取り組み。

この構想の実現には多くの課題がありますが、いずみ会理念である「利用者本位」「自己研鑽」「地域福祉貢献」を基盤に、利用者一人ひとりの尊厳と暮らしや思いを最優先に取り組み所存です。今後とも、ご支援を賜りたくよろしくお願いいたします。



パン・菓子工房「がじゅまるの木」

東日本大震災  
ボランティア派遣報告



リンデンバウムいずみ  
ケアプランセンター  
米田 浩一

日本社会福祉士会から要請を受け昨年の10月17～22日まで6日間の日程で岩手県陸前高田市の仮設住宅への個別訪問、総合相談などの業務を行いました。仮設住宅の訪問では現地の人達の温かな心遣いでこちらが逆に元気づけられました。また訪れた時は、復興が進み元気な陸前高田になっていくことを願っています。



パンとお菓子の工房「がじゅまるの木」が10月にオープンし、現在カレーパンとシフォンケーキを「喫茶うるびゅー」で販売しております。どちらの商品も安くて美味しいという評判で注文も頂けるようになりました。がじゅまるの木は「多幸の木」と呼ばれていますが、この工房からささやかな幸せを手作りのパンとお菓子に込めて皆様にお届けしたいとがんばっています。

特設人権相談所の開設

- 日時／平成24年3月5日(月)  
午前11時～午後3時
- 場所／ウエルビユーいずみ  
会議室

法務局の相談所に直接お越しになれない地域住民の方々に心配事や困りごとの相談業務を人権擁護委員や弁護士の方々が無料で行います。

当日は啓発活動としてマスコットキャラクターの人KENまもる君とあゆみちゃんによるこども園での交流も予定されております。



平成23年3月の啓発活動

プルタブ・アルミ缶回収10年の収益を

泉中学校生徒会活動では、プルタブ・アルミ缶回収運動を10年間継続し、その収益金を泉・寺内地区社会福祉協議会にこの度、寄贈されました。先日泉地区社会福祉協議会を通じて一万七千円をいただきました。活動の趣旨に感謝申し上げ有効活用させていただきます。

編集後記

社会福祉法人いずみ会では、創立10周年の節目に今後5年間を見据えた将来展望について職場討議を積み重ねました。こども園では、できるだけ子どもの良いところを見つけ、褒めて伸ばし、気になるところは見方を変えながら長所に結びつけたいと話しています。

私は、保護者の皆さんが安心して預けられるようにこども園の方針をわかりやすく説明し共通理解を図るようになっています。

こども園副主任 大川 智子